

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【公表番号】特表2010-539146(P2010-539146A)

【公表日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-524542(P2010-524542)

【国際特許分類】

C 07 D 473/16 (2006.01)

A 61 K 31/52 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 35/02 (2006.01)

A 61 P 13/12 (2006.01)

【F I】

C 07 D 473/16 C S P

A 61 K 31/52

A 61 P 35/00

A 61 P 35/02

A 61 P 13/12

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月1日(2012.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

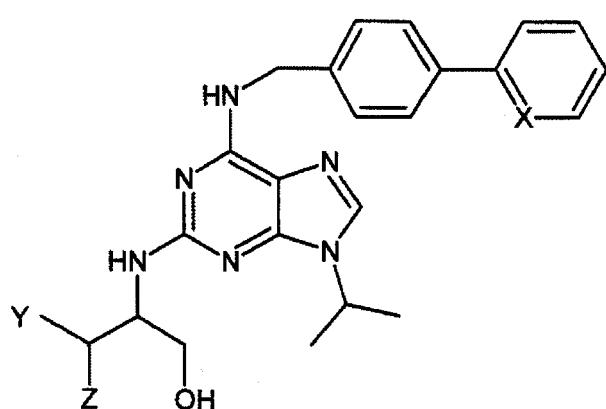
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

慢性リンパ性白血病を治療することを意図された医薬品の製造において、下記式Iの少なくとも1の化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物、エステル若しくは異性体を使用する方法、



式 I

上記式中、

XはC又はNであり、

YはCH<sub>3</sub>又はOHであり、かつ

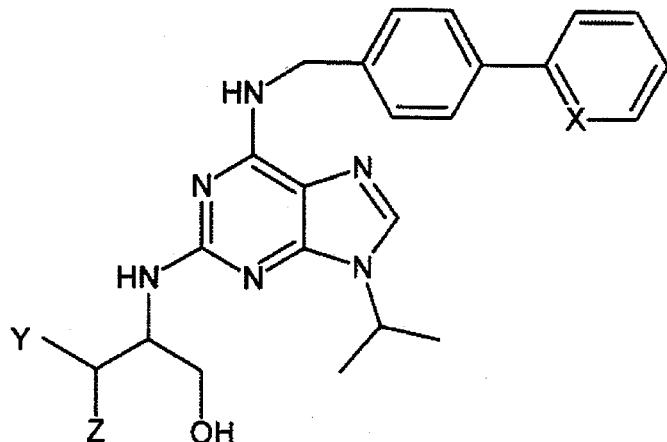
Z は H 又は C H <sub>3</sub> である。

**【請求項 2】**

該慢性リンパ性白血病が B 細胞慢性リンパ性白血病であることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

多囊胞腎臓病を治療することを意図された医薬品の製造において、下記式 I の少なくとも 1 の化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物、エステル若しくは異性体を使用する方法、



上記式中、

X は N であり、

Y は C H <sub>3</sub> 又は O H であり、かつ

Z は H 又は C H <sub>3</sub> である。

**【請求項 4】**

該医薬的に許容される塩がシュウ酸塩又は酒石酸塩又は塩酸塩又はフマール酸塩であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

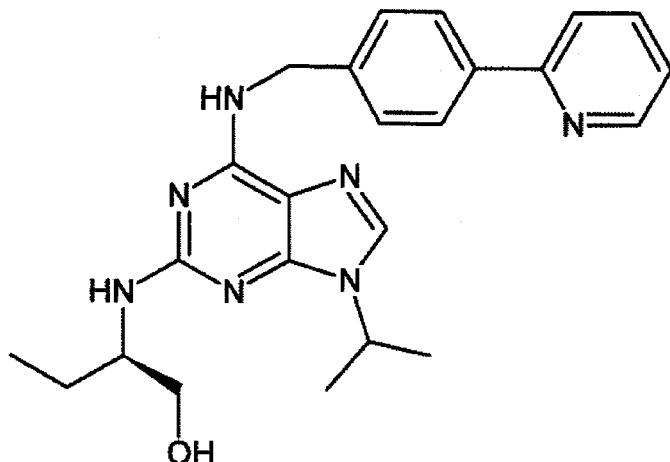
**【請求項 5】**

該少なくとも 1 の化合物が、X が N でありかつ Y が O H である式 I の化合物であることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 6】**

該少なくとも 1 の化合物が、

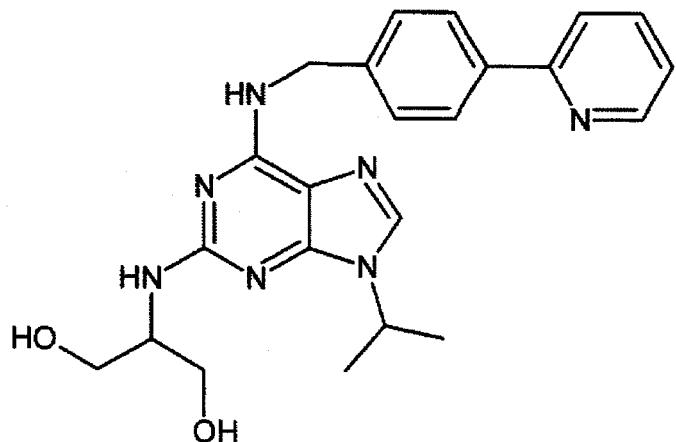
式 I において X が N であり、Y が C H <sub>3</sub> であり、かつ Z が H であり、下記式 I a で示される化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物若しくはエステル、



式 Ia

又は、

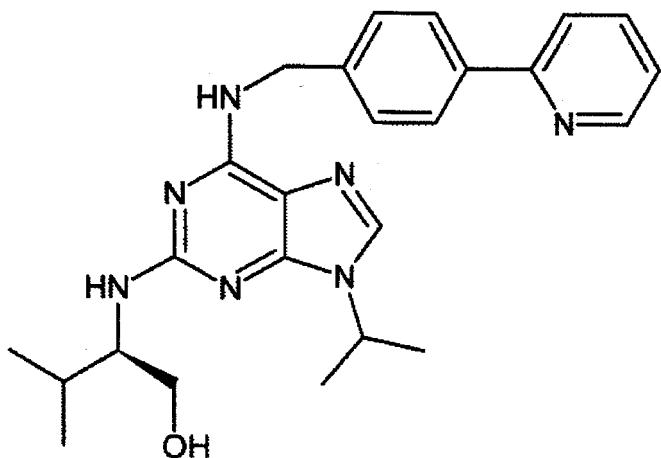
式 IにおいてXがNであり、YがOHであり、かつZがHであり、下記式I dにより示される化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物若しくはエステル、



式 Id

又は、

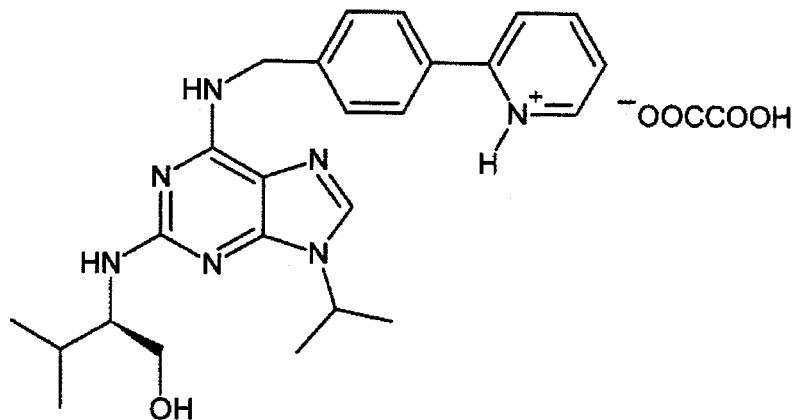
式 IにおいてXがNであり、YがCH<sub>3</sub>であり、かつZがCH<sub>3</sub>であり、下記式I eにより示される化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物若しくはエステル、



式 Ie

又は、

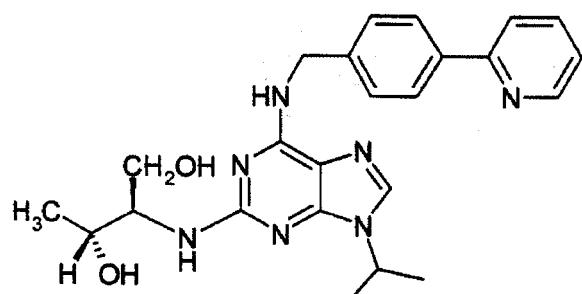
式 IにおいてXがNであり、YがCH<sub>3</sub>であり、かつZがCH<sub>3</sub>である化合物のシュウ酸塩であって、下記式I fで示されるもの、



式 If

又は、

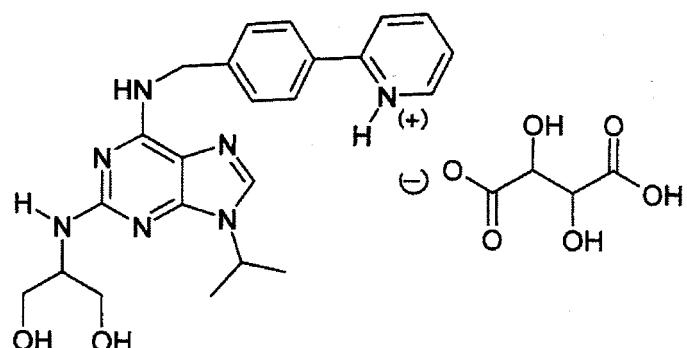
下記式 I g を有する化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物若しくは異性体



式 Ig

又は、

下記式 I h を有する化合物

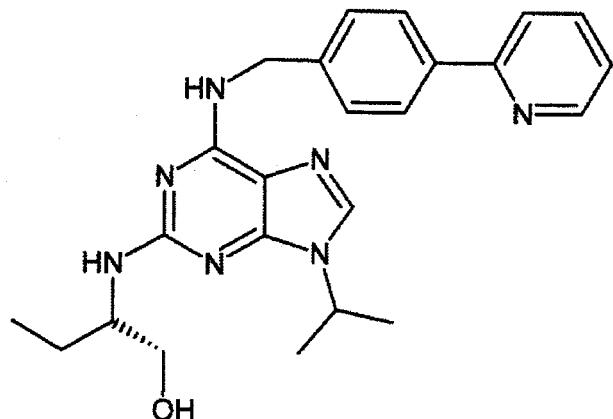


式 Ih

であることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

該少なくとも 1 の化合物が、式 I において X が N であり、Y が  $\text{CH}_3$  であり、かつ Z が H であり、下記式 I b で示される (S) 絶対配置の化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物若しくはエステルであることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。



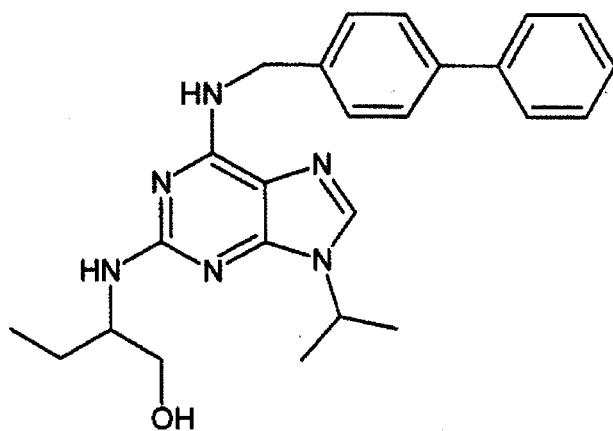
式 I b

## 【請求項 8】

該少なくとも 1 の化合物が、式 I b の化合物のシュウ酸塩であることを特徴とする、請求項 7 に記載の方法。

## 【請求項 9】

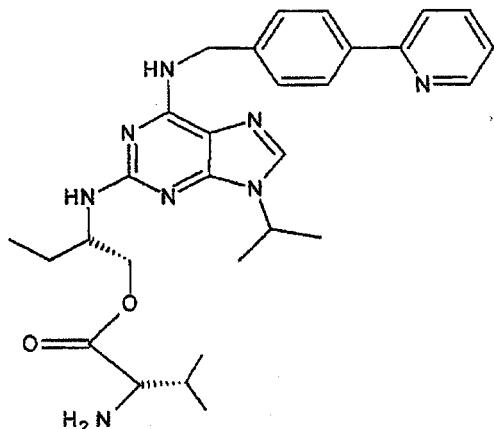
該少なくとも 1 の化合物が、式 I において X が N であり、Y が OH であり、かつ Z が H であり、下記式 I c で示される化合物又はその医薬的に許容される塩、水和物若しくは異性体であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の方法。



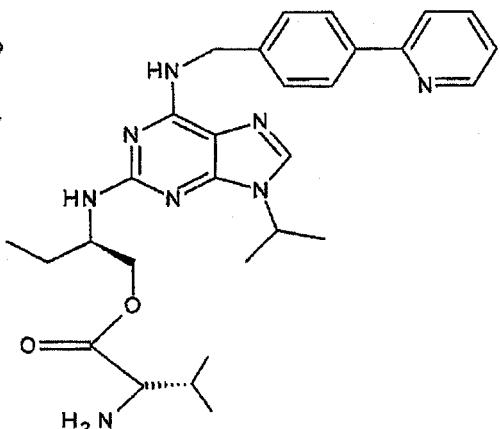
式 I c

## 【請求項 10】

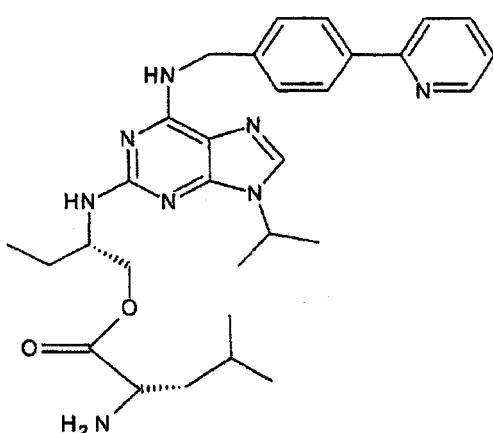
該少なくとも 1 の化合物が下記式 I I - 1 ~ I I - 4 の化合物から選択されたエステルであることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。



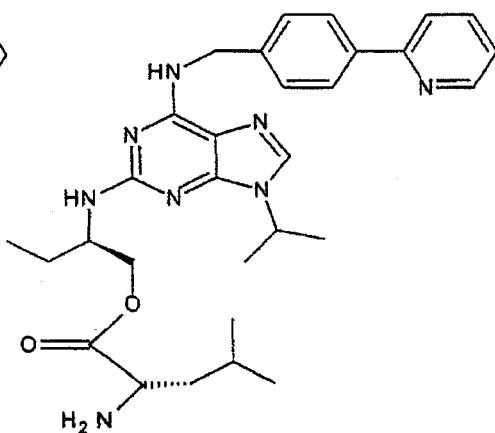
式 II-1



式 II-2



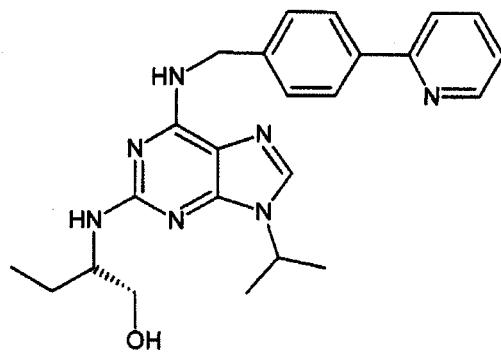
### 式 II-3



式 II-4

### 【請求項 1 1】

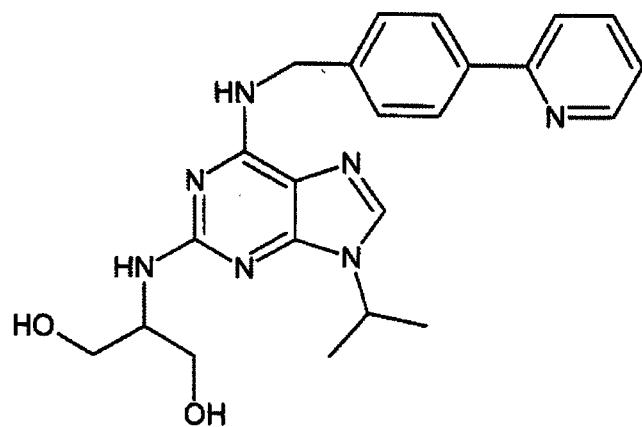
下記式 I b の化合物又はその塩、水和物若しくはエステル。



### 式 Ib

## 【請求項 1 2】

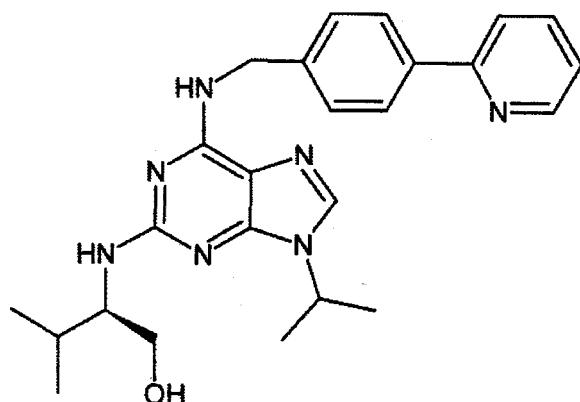
下記式 I d の化合物又はその塩、水和物若しくは異性体、



式 Ia

又は、

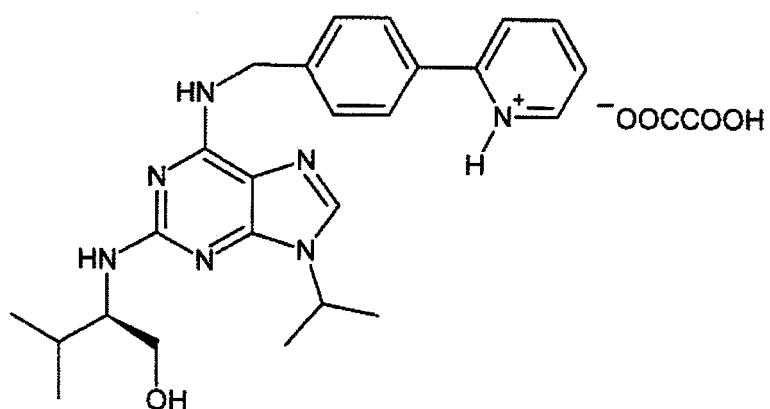
下記式 I e の化合物又は後者の塩、水和物若しくはエステル、



式 Ie

又は、

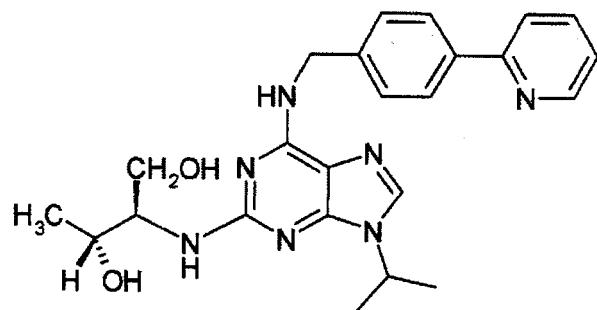
下記式 I f の化合物、



式 If,

又は、

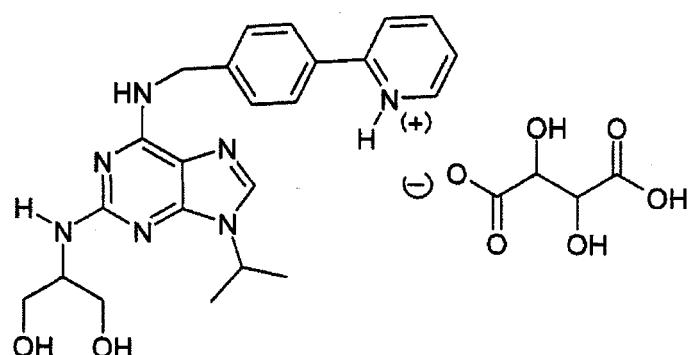
下記式 I g の化合物又はその塩、水和物、エステル若しくは異性体、



式 I-g

又は、

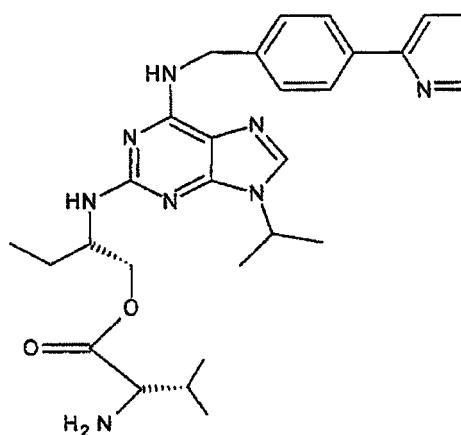
下記式 I-h の化合物。



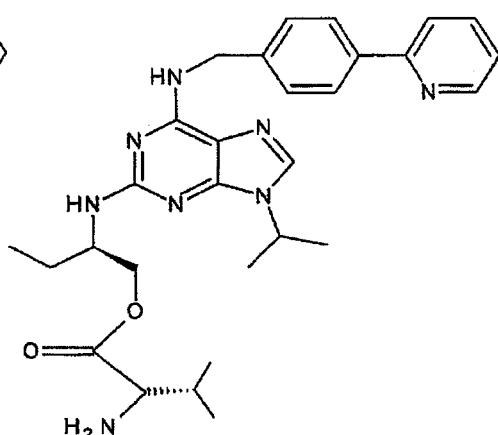
式 I-h

## 【請求項 13】

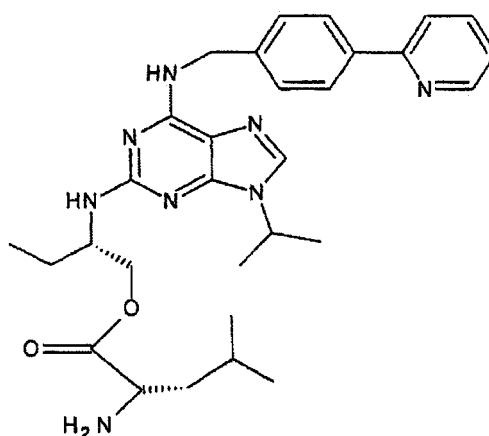
下記式 II-1 ~ II-4 を有することを特徴とする化合物。



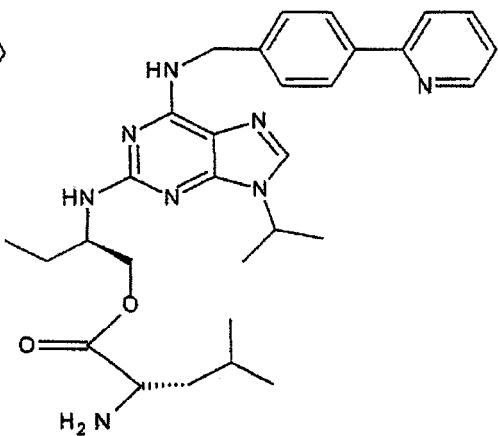
式 II-1



式 II-2



式 II-3



式 II-4